



千葉 巧也

設計で大事なこと  
用強美 (使いやすさ)  
(安全で合理的)  
(活き活き空間)

「あたたかい建築を目指して」  
千葉 巧也

私は岩手県盛岡市で育ち、新潟大学へ進み、雁木町家での活動に関する調査研究を行ってきました。そこでは、街並みを守るため、住民と地域と行政が丸となって取り組むことの重要性を学びました。

山形に来てからあつという間に9年が経ち、徐々に地域ごとの風景や街並みなどに親しみを感じられるようになってきました。

これまでを振り返ってみると、保育園や医療的ケア児の通所施設、福祉施設、役場庁舎、学校などの様々な用途の設計に携わってきました。どれも、発注者の方々の熱い想いに背中を押されながら設計を進めてきたことが思い出されます。

私たちは設計に取り組む中で、既存建物の使い方を観察調査する機会を設けています。それによる要望抽出や改善点提案に役立てています。

建築は、使う人に安心や活力を与えるのだと思います。そんなあたたかい建築を目指して、これからも設計に取り組んでいきます。

## 指定障害者支援施設水明苑改築工事

大石田町の風景にのびやかに住もう 『ユニットケアホーム』

### ○移転の概要と敷地の特徴

大石田町にある障害者支援施設の移転改築事業の計画です。既存の施設は最上川沿いに位置しており、東側には崖地を背負う敷地に建てられていました。近年の豪雨の影響もあり、利用者の安全を守るため、慣れ親しんだ建物からの移転を決断しました。移転先の敷地は、北側に畑が隣接し、東側には田園風景や山並みが広がっています。

### ○見通しの良いシンプルな空間構成

建物構成は居住棟と管理棟（体育館や作業室など）の2つに区分して計画しました。入所定員は80名となっており、重度と中軽度で男女の4ユニットに分けられます。各ユニットの中央に設けたラウンジには、スタッフステーションを隣接させ、職員が安全に見守ることができそうです。

### ○豪雪地域におけるのびやかな居住空間

居住棟ユニットはコンパクトな中廊下形式を採用しました。ユニット中央にはみんなが集まれるラウンジと屋根付き光庭を設けています。吹抜けとなる光庭により上部からはやわらかい光が差し込み、衛生に配慮した換気を行いやすい計画となっています。

敷地形状に沿った計画のために玄関ホールからは長さ90mの廊下が伸びていますが、天井を波打ち形状とすることで圧迫感を軽減させながら、万が一の火災発生時の煙だまり空間としても機能させています。

要所に設けた窓からは地域の風景を感じながら、雪の降り積もる季節にも、内装の木材による暖かみの感じられる空間となるように目指しました。

(千葉 巧也)



東側正面 おおらかな水平庇が降雷時にも利用者の安全を守る



南側 軒内空間には木材の暖かみが感じられる



波打つ天井による楽しい動線



南北から採光を確保する開放的なアリーナ



上下階をつなぐ屋根付き光庭



賑わいが生まれる明るいラウンジ



落ち着きのある木質ラウンジ

○目次

- ・ 所員 千葉 巧也
- ・ 指定障害者支援施設水明苑移転改築事業

○人物紹介

千葉 巧也 / 岩手県出身 / 一級建築士 / ヘリテージマネージャー  
/ 木造マイスター / 鈴木建築設計事務所 所員

2015.03 ~ 新潟大学大学院 自然科学研究科環境科学専攻  
建築学コース修士課程修了

2015.04 ~ (株) 鈴木建築設計事務所で意匠設計・監理を担当

○指定障害者支援施設水明苑

**所在地** 山形県大石田町  
**主要用途** 障害者支援施設  
**敷地面積** 約 18,851.42 m<sup>2</sup>  
**延べ面積** 約 5,851.00 m<sup>2</sup>  
**構造・階数** ①管理棟：鉄骨造平屋建て  
②居住棟：鉄骨造2階建て  
③車庫棟：鉄骨造平屋建て  
**定員** 利用者80名  
重度男子 (なんしゅう寮)  
重度女子 (しき寮)  
中軽度男子 (もきち寮)  
中軽度女子 (ばしょう寮)  
※寮の名前はゆかりの詩人が由来となっています。

**施主** 社会福祉法人 敬天会  
**設計・監理** 鈴木建築設計事務所  
石澤 千葉 小池 新田

**施工 (建築)** 千歳建設株式会社  
**(電気)** 東北電化工業株式会社  
**(機械)** 弘栄設備工業株式会社  
**(外構)** 株式会社矢作組  
**(融雪)** 株式会社マルニシ

**設計期間** : 2020年7月~2021年9月

**工事期間** : 2021年11月~2023年3月

○お問い合わせ

株式会社 鈴木建築設計事務所

Suzuki Architectural Design Office

代表取締役社長 藤原 薫



Instagram



ホームページ

編集後記

最後まで読んでいただきありがとうございます。編集を担当している橋本です。

今後も引きつづき物件紹介や会社の最新情報をお届けしますので、みなさま今年度も引き続きよろしくお願ひいたします。

(広告編集担当 橋本)